



西山じゅんじ



西山じゅんじ ニュース

Junji news
Apr.
No.54

連絡先

fax/04-2990-2172

e-mail/komei@nishiyama-junji.com

URL/http://www.nishiyama-junji.com

2月 県議会 西山じゅんじが代表質問

福祉、安全、教育など県民目線で

2月定例県議会会で西山淳次議員は公明党を代表して質問に立ち、県政の主要課題について知事や教育長と論戦を交わしました。その主な質問答弁をダイジェストでお伝えします。

高齢者の足の確保を

Q 超高齢社会にあつて最も県民要望の多い課題がバス等の公共交通機関の再編整備。免許返納しようにも身近な足がなくては話にならない。コミュニティバスもさまざまな課題を抱えている。昨年引き続き、このテーマを取り上げるが、市町村任せにせず、県としてしっかり取り組むべきだ。

A (知事) 市町村の協議に県も参加する。国の支援制度も使い、積極的に支援していく。

スマホのながら運転

Q 2月に草加市内でスマホのながら運転により母子がはねられる痛ましい死亡事故が起きた。飲酒運転と同様、社会全体でスマホのながら運転は絶対許さないという意識を作らなくてはならない。県として知事を先頭にスマホなどのながら運転を許さないというキャンペーンを徹底して行うべきだ。

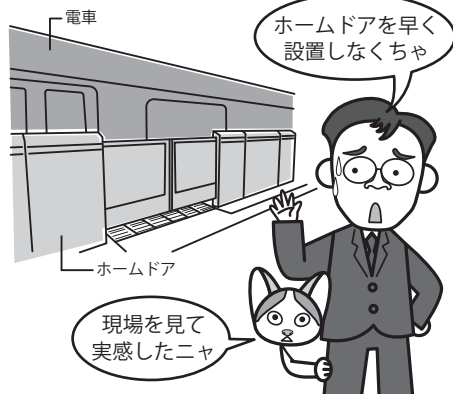
A (知事) 「彩の国だより」をはじめラジオやテレビなどの媒体、交通安全運動でのキャンペーンを展開する。運送事業者や携帯電話、自動車販売店とも連携し、啓発を行っていく。



ホーム転落事故の防止

Q 1月に京浜東北線蕨駅で盲導犬を連れた男性がホームから転落、死亡する事故が起きた。会派で現場視察も行ったが、二度とこのような事故を起こさない対策を急ぐべきだ。ホームドア設置を急ぐとともに、内方線付き点状ブロックの設置、構造物へのクッション設置などのハード対策、さらには視覚障がい者へのサポート方法を示したハンドブックの活用といった駅の安全対策に全力を尽くせ。

ホームドアを早く設置しなくちゃ



A (知事) モデル事業だったホームドア設置の補助事業を恒久制度化する。平成32年度までに県内13駅に設置される見込み。ハンドブック活用した講習会も開催する。

五輪会場の仮設費用

Q 小池都知事から五輪会場の仮設費用について埼玉県など開催地負担を求める発言が出ているが、それはおかしい。国際公約である「立候補ファイル」に、組織委員会が資金不足に陥った場合は東京都、国が補てんすると書いてある。この原則を崩してはいけない。

A (知事) 仮設整備費は(立候補ファイルの)大原則を踏まえ、しっかり対応する。(2ページへ続く)